100億宣言

三和ボーリング株式会社（建設業）

Geological Consulting & Drilling Method

三和ボーリング株式会社

自然と向き合い、SOZOする



三和ボーリング株式会社
テクニカルセンター北陸

〇本社所在地：富山県富山市
〇事業概要：地質調査、ボーリング工事、斜面防災対策工事、土木構造物の補修・補強、ボーリングマシンなどの整備・修理・改造・レンタルなど
〇常時使用する従業員：70名
（2026年3月時点）
〇現在の売上高：14億円
（2026年3月期）
〇法人番号：4230001001111
〇Web：https://sanwa-boring.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
湯川　雅昭

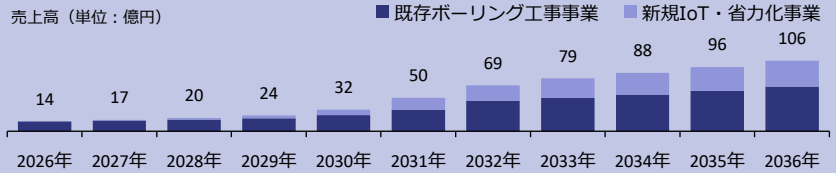
「インフラ防災・次世代土木プラットフォーム企業」へ進化

当社は、地質調査・ボーリング工事による防災土木を通じて、半世紀以上にわたり地域の暮らしとインフラを支えてきた。一方で、土木業界の現場は、長年、危険・過酷・個人の技能への依存が続いている。私は異業界から社長に就任した立場から、既存のボーリング工事事業に加え、新たに「土木施工とテクノロジーの融合」に取り組む。身近なIoTを利用したレトロフィットによる管理機器・省力化機器を開発し、自社の現場で磨く。それらが搭載されたボーリングマシンの販売・レンタルにより業界全体の業務改革に貢献する。100億円企業への成長を通じて、豪雨災害から地域を守り、若者が誇りを持って働ける職場をつくり、成長の成果を社員の待遇改善に還元する。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年に売上高100億円を達成する。既存事業の拡大と新規事業の立ち上げにより、平均年率約22%の成長を目指す。



課題

- 身近なIoT機器や既存マシンの後付け改造で解決できる「難工事施工」と「属人的施工ノウハウの共有」の手法を増やす
- レトロフィットIoT管理機器・省力化機器の開発と、自社現場での実証データを蓄積する
- 新規事業を担う開発・営業人材を確保し、体制を整備する
- 機器の製造・整備やレンタル機材の確保に必要な拠点・設備を整備する

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 新工場の建設と設備・人員の増強により、既存のボーリング工事の施工能力を3倍以上に拡大する
- レトロフィットIoTセンサーによる予防保全と、ロッド接続アシスト装置など省力化機器の製造・販売を加速する
- 省力化機能を備えたボーリング装置のレンタル（施工ノウハウの提供付き）を開始する
- IoT管理機器(各種センサー)を利用したモニタリングの対象をマシンから施工現場や維持管理に広げ提供メニューを拡大する

実施体制

- 新設した「エンジニアリング部」にてDXや新規事業を社長が統括し、推進する。施工部門の熟練者による現場実装プロジェクトチームが自社現場や自社実験施設で実証を担う
- 「センサー・IoTシステム開発」及び「省力化機器の開発」はそれぞれ専門の外部パートナーや大学研究機関と連携する。また、IT人材と設計人材の採用・育成を進める
- 月次の経営会議で売上・投資・KPIの進捗を、週次の現場会議で改善点を確認し、PDCAを回す

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです